

インフルエンザ(2025年第47週)疫学情報 《コメント》

2025年第47週の定点当たり報告数は51.12(患者報告数196,895)となり、前週の定点当たり報告数37.73よりも増加した。都道府県別では宮城県(89.42)、福島県(86.71)、岩手県(83.43)、埼玉県(79.51)、秋田県(75.72)、栃木県(74.47)、群馬県(73.47)、山形県(66.62)、青森県(66.37)、神奈川県(66.25)、長野県(63.42)、北海道(61.78)、千葉県(61.43)、富山県(60.83)、愛知県(60.16)の順となった。全国47都道府県全てで前週の報告数よりも増加した。

基幹定点医療機関から報告された、インフルエンザによる入院報告数は2,055例であり、前週(1,468例)から増加した。47都道府県から報告があり、年齢別では1歳未満(108例)、1～4歳(414例)、5～9歳(365例)、10代(184例)、20代(39例)、30代(38例)、40代(30例)、50代(53例)、60代(110例)、70代(255例)、80歳以上(459例)であった。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況をみると、直近5週間(2025年第43週～2025年第47週)では、AH3亜型が185件(94%)、AH1pdm09が6件(3%)、B型が6件(3%)の順であった。

詳細は国立健康危機管理研究機構感染症情報提供サイト(<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/article/influenza/article.html>)を参照されたい。